

基本目標 1

地球ネットワークに ささえられるまち

1. 21世紀の地球に貢献する藤沢市民

- 1) 21世紀の世界市民としての平和ネットワーク …………… 31
- 2) 豊かな地球環境を守るための自然ネットワーク …………… 32
- 3) 自立する次世代を育てるための教育ネットワーク …………… 33

2. 市民生活を支援する情報ネットワーク環境の整備

- 1) 高齢者福祉をささえる情報ネットワーク …………… 34
- 2) 多様な家庭生活をささえる情報ネットワーク …………… 35
- 3) 新しいコミュニティを生成する情報ネットワーク …………… 36

3. 生涯都市づくりをめざした交通ネットワークの整備

- 1) 快適な市民生活をもたらす都市交通ネットワーク …………… 37
- 2) 効率的な都市環境をもたらす広域交通ネットワーク …………… 38
- 3) 生涯都市にふさわしい公共交通ネットワーク …………… 39



基本目標1 地球ネットワークにさせられるまち

1. 21世紀の地球に貢献する藤沢市民

1) 21世紀の世界市民としての平和ネットワーク

施策の目的

藤沢市民が、安全で安心して市民生活をおくることができるように、平和のネットワークを構成する。

現状と課題

- 藤沢市に連なる世界のネットワークの中では、戦争・紛争・貧困・飢餓・災害など、人々の安全で安心な生活が脅かされる事態が引き続き起きている。

到達目標

- 21世紀の世界市民として、地球上のすべての人々が安全で安心して平和に暮らせるように、地球に貢献する藤沢市民になることを目標とする。

施策の内容

- 藤沢市民は、世界のネットワークのなかの、市民のレベルあるいは都市のレベルで、産業・文化・生活などの各分野を通し、さらに交流を深める。



長崎の被爆地を巡り、平和について考えます

基本目標1 地球ネットワークにささえられるまち

- 1. 21世紀の地球に貢献する藤沢市民
- 2) 豊かな地球環境を守るための自然ネットワーク

施策の目的

地球環境を守るために、藤沢市民は自然ネットワークを構成する。

現状と課題

- 地球上の自然ネットワークの中で、地球温暖化・オゾン層の減少などが起きている地球環境と密接に結びついている藤沢市の自然環境を守ることが必要である。

到達目標

- 藤沢市民が、自然のネットワークの中で、地球規模で考え自ら地球環境を守る取り組みをすることを目標とする。

施策の内容

- 藤沢市民が自然ネットワークの構成員であることを自覚し、藤沢市の自然環境を守ることにより、地球環境を守る。



観音上公園

基本目標1 地球ネットワークにささえられるまち

2. 市民生活を支援する情報ネットワーク環境の整備

1) 高齢者福祉をささえる情報ネットワーク

施策の目的

高齢者の生活スタイルに応じて必要な情報を的確に提供するため、情報ネットワークの整備を行う。

現状と課題

- 生活領域が狭くなりがちな高齢者などのため、情報ネットワークを整備する必要がある。
- 情報を簡単に得られない高齢者のために、使いやすく役に立つ情報ネットワークの整備が必要になっている。

到達目標

- 高齢者が安心して安全に暮らせる情報ネットワークの活用

主要な事業

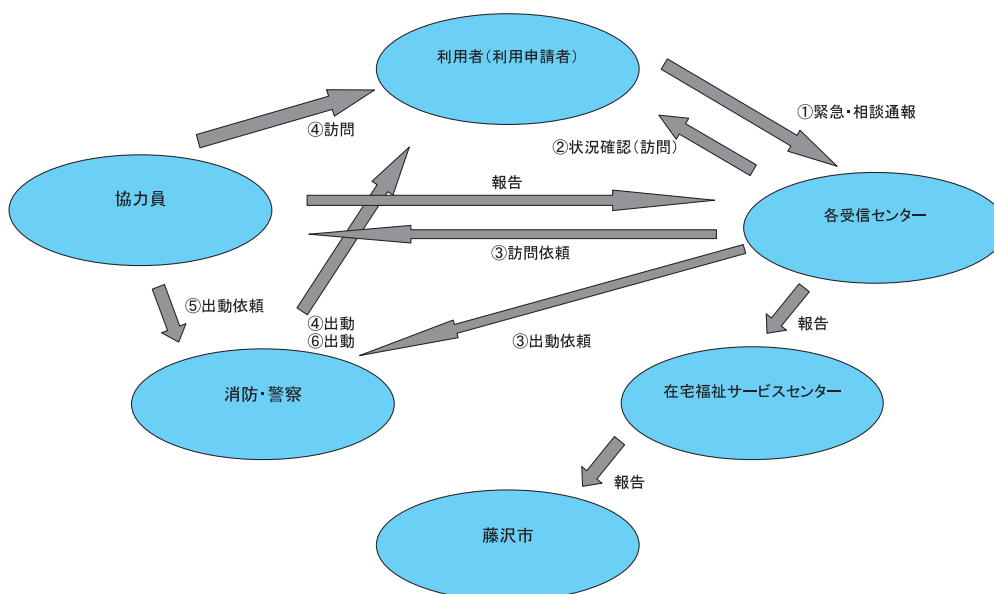
- 緊急通報システムの拡大
- CATVやFM放送の高度利用
- e-ケア・プロジェクト*の推進

施策の内容

- 高齢者福祉をささえる情報ネットワークの整備を図る。

*「e-ケア・プロジェクト」…ITを活かし、看護と介護の充実をめざす試み。

緊急時の流れ（緊急通報システム）



基本目標 1 地球ネットワークにささえられるまち

2. 市民生活を支援する情報ネットワーク環境の整備

2) 多様な家庭生活をささえる情報ネットワーク

施策の目的

個人や家族の生活様式の多様化をささえる情報ネットワークの環境整備に努める。

現状と課題

- 少子高齢化や単身世帯化が進むとともに、働き方や定年後の暮らし方など個人の価値観が変化する中で、個人や家族の生活様式が多様化している。

到達目標

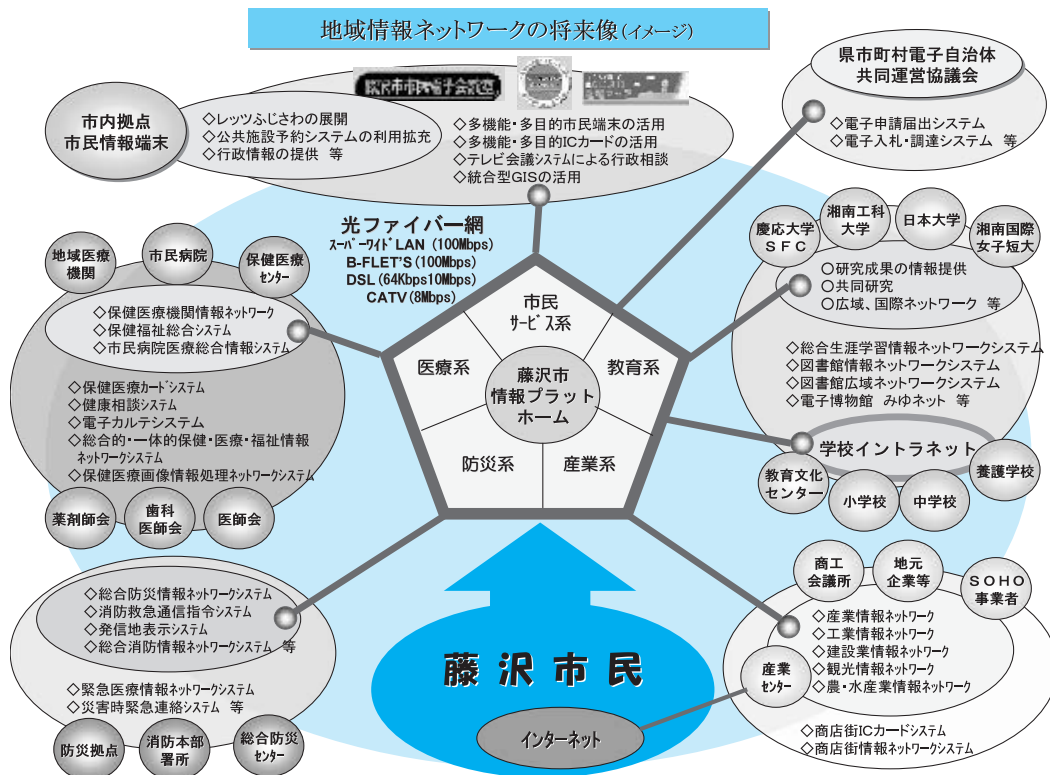
- 多様な家庭生活の利便性向上を図るための情報ネットワーク整備

施策の内容

- 医療、福祉、教育、防災、行政など、家庭生活をささえる様々な分野での情報ネットワークシステムの整備を図る。

主要な事業

- 医療ネットワーク、地域福祉ネットワーク、生涯学習ネットワーク、防災情報ネットワークなどの整備



基本目標1 地球ネットワークにささえられるまち

2. 市民生活を支援する情報ネットワーク環境の整備

3) 新しいコミュニティを生成する情報ネットワーク

施策の目的

時間的・地理的制約を超え新たな人と人とのつながりを創り出す情報ネットワークを構築し、新しいコミュニティの生成に対応する。

現状と課題

- 情報通信システムの進展により、時間的、地理的制約を超えたネットワーク上で人と人との新たなつながりが発生している。
- 行政情報の提供に加え、市民が情報を発信し、地域情報の共有や市民同士の相互交流などにより、地域の活性化を図るための一層の活用が必要である。
- ネットワークを有効に活用するためには、高齢者や障害者をはじめ市民がパソコンやインターネットを利用することが必要であり、市民のIT基礎技能の向上が求められている。
- 地上デジタル放送をはじめ、パソコンや携帯電話等の多様なメディアを活用したネットワークづくりの研究が必要である。
- いつでも、どこでも、だれでもがコンピュータのネットワークに自由にアクセスし、必要な情報やサービスを受けることができるユビキタス社会が間近に迫っている。

施策の内容

- 地域情報化を推進する。
- 新しいコミュニティをささえる場としての市民電子会議室の運営を図る。
- インターネットを利用して行政情報を提供する。
- 市全体のコミュニティの広場として、地域の情報を出し合い、利用し合うポータルサイト*1の充実を図る。
- 市民のIT技能の修得を図るため、NPO*2やボランティアを講師とした市民ITふれあいコーナー「Let's ふじさわ」など身近な場の活用をすすめる。
- 地上デジタル放送やCATVの双方向機能実現に向けて研究をすすめる。
- 地理情報を活用した新しいコミュニティの場を提供する。
- 多機能携帯電話やICタグ*3など先進的なIT技術の活用について検討をすすめる。

到達目標

- 新しいコミュニティを形成する情報ネットワークの活用

主要な事業

- 地域IT基本計画の推進
- 市民電子会議室の拡充
- 行政のホームページの充実
- 地上デジタル放送やCATVの双方向機能の研究
- 「みんなで育てるふじさわ電縁マップ」の運営
- 「えのしま・ふじさわポータルサイト」の充実

- *1「ポータルサイト」…インターネットへの入り口として、ユーザー（利用者）が接続時に最初に利用するWebサイト（ホームページのこと）
- *2「NPO（Non Profit Organization）」…民間非営利団体と訳され、営利を目的としない民間団体。
- *3「ICタグ」…1平方ミリメートル程度の小さなIC（集積回路）チップを組み込んだ荷札（タグ）。



市民電子会議室トップページ

3. 生涯都市づくりをめざした交通ネットワークの整備

1) 快適な市民生活をもたらす都市交通ネットワーク

施策の目的

市民の内外にわたる自由な交流・連携、都市の活力をささえる鉄(軌)道及び都市間連絡幹線道路ネットワークを整備し、同時に市街地内での道路混雑解消と自動車交通総量の削減を図る。

13地区のネットワークをささえる市道、都市計画道路を整備することによりバス交通の鉄道駅等へのアクセスルートを確認し、自家用自動車交通に頼らずにすむ都市をめざす。

現状と課題

- 西北部地域は鉄道サービス圏外となっているほか、隣接する他都市への鉄(軌)道が未整備であるため、この地域での公共交通の整備促進が必要である。同時に設置を要望している新幹線新駅への連絡も必要である。
- 村岡地区においては、藤沢駅への一極集中を避けるために東海道本線の新駅の設置の検討が必要である。
- 都市間連絡幹線道路は順次整備を進めているが、広域幹線道路へのアクセス機能強化や幹線道路間の相互補完機能確保のため、未着手区間の整備が急がれる。
- 現在、都市計画道路の整備率は約64%となっているが、道路交通の質に対応する交通処理は進展していないことから、その整備が急がれる。
- 地区内公共交通機関としてのバス導入に当たり、幅員が要件を満たさない道路があり、既存道路のみでのルートの設定は困難なため、地区内幹線道路整備を急ぐ必要がある。

施策の内容

- 都市間を連絡する鉄(軌)道や道路などの交通体系の整備を促進する。
- 駅アクセス幹線道路や北部地域幹線道路などの地区間を連絡する交通体系を整備する。



遠藤宮原線

到達目標

- 藤沢を中心とした最寄りの拠点都市(平塚、厚木、横浜、横須賀等)までの所要時間30分以内、最寄りのインターチェンジへの到達時間20分以内の達成
- 鉄道駅へ通じる幹線道路の整備
- 北部地域幹線道路の整備

主要な事業

- 鉄(軌)道の整備促進
相鉄いずみ野線の湘南台駅以西への延伸の検討(仮称)新南北線の整備の検討
東海道本線村岡新駅の設置の検討
- 道路の整備促進
[県道] 横浜伊勢原線、藤沢厚木線、横浜藤沢線
[市道] 亀井野二本松線、(仮称)湘南台寒川線
- 駅アクセス幹線道路の整備推進
[市道] 藤沢石川線、善行長後線、鵜沼奥田線、片瀬江ノ島駅前通り線、(仮称)藤沢駅北口通り線、(仮称)長後駅西口駅前通り線、長後駅東口駅前通り線
- 北部地域幹線道路の整備推進
[市道] 遠藤宮原線、土棚石川線、石川下土棚線、上谷台山王添線、高倉下長後線



辻堂駅遠藤線

基本目標1 地球ネットワークにささえられるまち

3. 生涯都市づくりをめざした交通ネットワークの整備

2) 効率的な都市環境をもたらす広域交通ネットワーク

施策の目的

市民の内外における自由な交流・連携をささえ、都市の活力を創造する新幹線、自動車専用道路からなる広域交通の骨格を形成することにより、全国高速交通ネットワークへのアクセシビリティ（接近性）を高め、さらに、空港、新幹線、高速道路利用による全国及び首都圏各圏域との交流を容易にし、県内各地域への到達所要時間を短縮する。

現状と課題

- 神奈川県内における新幹線駅の配置状況及び自動車専用道路ネットワークの不備により、本市からの全国高速交通ネットワークへのアクセシビリティが低く、市民の広域への移動に際して多くの時間消費を強いられている。

到達目標

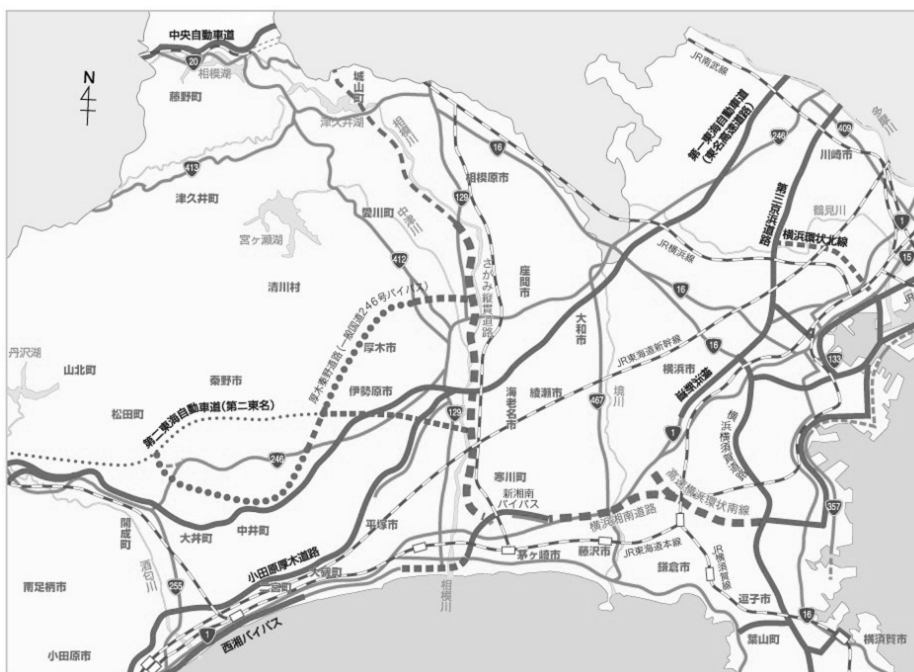
- 市内各地から神奈川県内目的地までの平均所要時間1時間以内の実現

主要な事業

- 東海道新幹線新駅（寒川町倉見地区）の誘致促進
- 横浜湘南道路（首都圏中央連絡自動車道）の整備促進
- 第一東海自動車道（東名高速道路）（仮称）綾瀬インターチェンジ 設置促進
- 第二東海自動車道（第二東名高速道路）の整備促進

施策の内容

- 東海道新幹線新駅（寒川町倉見地区）の誘致を促進する。
- 横浜湘南道路（首都圏中央連絡自動車道）の整備を促進する。
- 第一東海自動車道（東名高速道路）（仮称）綾瀬インターチェンジ 設置を促進する。
- 第二東海自動車道（第二東名高速道路）の整備を促進する。



道路位置図（国道事務所資料から）

基本目標1 地球ネットワークにささえられるまち

3. 生涯都市づくりをめざした交通ネットワークの整備

3) 生涯都市にふさわしい公共交通ネットワーク

施策の目的

公共交通不便地域の解消と自家用自動車に頼らずに移動できる均衡のとれた公共交通網を整備し、公共交通が分担する割合を高めて、都市環境の向上と市民生活の利便性の向上を図る。

現状と課題

- 自動車交通の進展に伴う交通渋滞、大気汚染などの環境問題が大きくなっているため、公共交通への転換促進が求められている。
- 公共交通機関であるバスの利用者は、自家用自動車の普及や交通渋滞などの走行環境の悪化により恒常的に減少している。
- 乗り合いバスに関する規制緩和策により、路線の再編などが行われ、公共交通確保のための施策が必要となっている。
- 都市拠点の中で、鉄（軌）道系で結ばれていない公共交通不便地域である西北部地域と他の都市拠点とのアクセスに問題がある。
- 駅周辺や幹線道路の交通渋滞に対する取り組みが必要である。
- 高齢化社会が進展する中で、買い物や通院など日常生活を支える、より細かな公共交通ネットワークの整備が必要となっている。

施策の内容

- 公共交通機関であり、駅への交通機関として大きな役割を果たすバスの利便性の向上を図る。
- 地域住民、事業者、市の連携による地域提案型のコミュニティバスの充実・促進を図る。
- 公共交通不便地域の解消のため、バス交通網の充実・促進を図る。
- 円滑な交通の流れを実現すると共に、公共交通機関への転換を促し、道路の交通混雑の緩和を図る。
- 乗り継ぎ利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。

到達目標

- 市内の交通混雑を緩和する交通体系の確立
- 自家用自動車から公共交通機関へ転換するなど効率的な輸送の切り替え方式（モーダルシフト）の実現

主要な事業

- 駅目的バス交通の充実促進
- コミュニティバスの充実促進
- 低床バス、低公害バスの導入促進
- 連節バス導入の促進
- バス路線の新設に向けた道路改良など走行環境整備
- 新しい交通処理システム（誰でも簡単に手に入れられる交通情報の提供、定時走行支援の強化、バス停付近での自転車からの乗換えなど）の導入促進
- 公共交通利用を促進するための広報・啓発活動の充実促進



ノンステップ連節バス「ツインライナー」



ノンステップミニバス「ふじみ号」